

## ◆今期間のポイント

## &lt;主要じょう乱の概要&gt;

- 4日は、前線を伴った低気圧が日本海に進む。
- 5日は、低気圧は不明瞭となりながら日本付近を進み、前線が本州付近を通過する。
- 6日から7日は、前線が日本の東から日本の南にのびる。7日は低気圧がサハリン付近に進む。
- 8日は、高気圧が日本海に移動し、前線が日本の南にのびる。

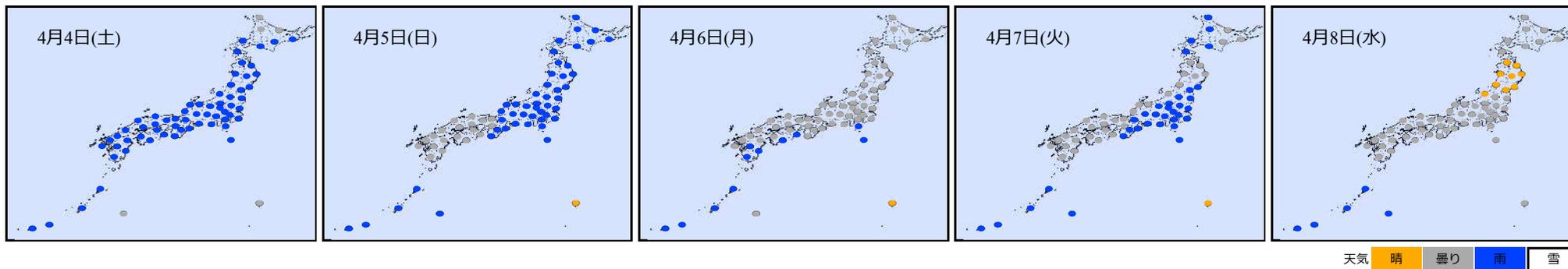
## &lt;防災事項&gt; 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 4日から5日にかけて、前線を伴った低気圧が日本海を進み、暖かく湿った空気が日本付近に流れ込む。このため、西日本や東日本太平洋側を中心に大雨となり、湿った空気の流れ込みの程度等によっては警報級の大雨となるおそれがある。
- 4日は、低気圧の影響で西日本では荒れた天気となり、低気圧の発達程度等によっては大荒れとなるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

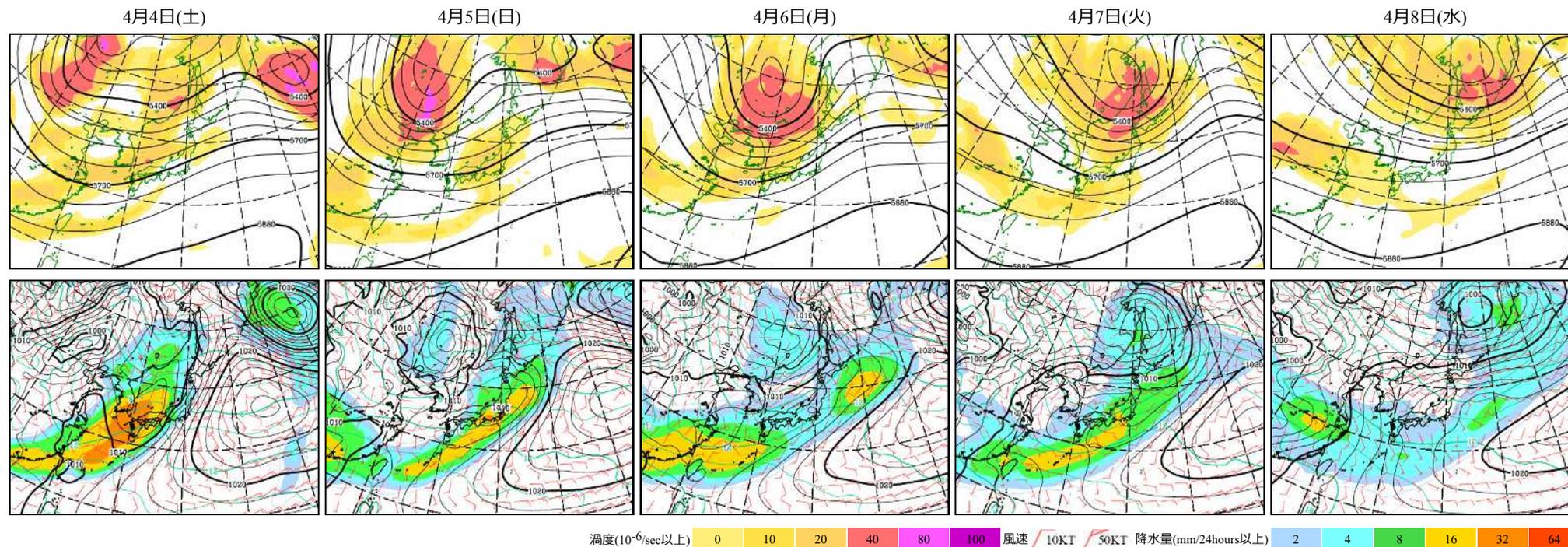
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

## ◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

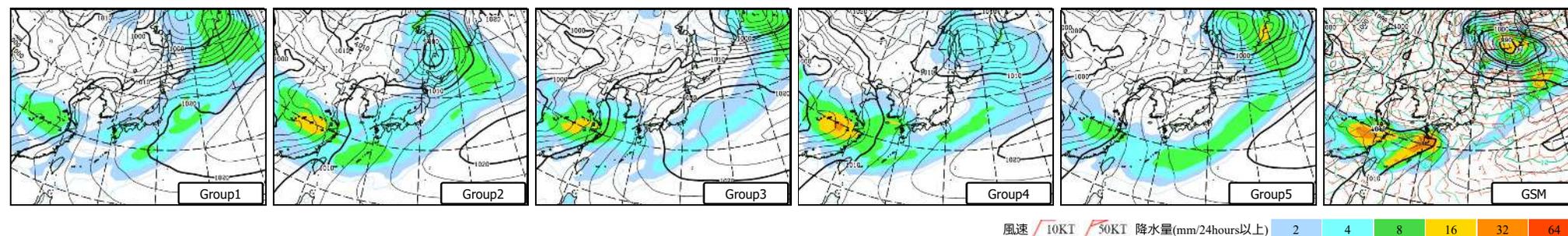


- 北日本は、曇りや雨または雪の降る日が多いが、8日は晴れる所がある。
- 東日本は、曇りや雨の降る日が多い。
- 西日本は、雲が広がりやすく、雨の降る日がある。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が続く。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆4月8日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、大きな初期値変わりはない。5日から6日にかけてオホーツク海に進むリッジが強まり、中国東北区を進むトラフが深くなった。地上の気圧配置は、大きな初期値変わりはない。
- 各モデルともに6日に中国東北区を進む寒冷渦の予想に初期値変わりがある。7日以降の寒冷渦の動きはモデル間の差が大きくなっている。地上の気圧配置は、7日頃まではモデル間の差は小さくなった。
- 8日について、GSMのみ東シナ海に前線がのびる予想をしている。ENSにはGSMに近いメンバーはあるが、数は少ない。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考えるが、FEFE19で8日の九州付近に予想されている降水域は、ENSメンバーのバラつきや海外モデルを参考に縮小する。